



第38回
北信越国民体育大会
福井しあわせ元気国体プレ大会



カヌー競技(スプリント)プログラム

《期間》平成29年7月15日(土)~7月16日(日) 《場所》北潟湖特設コース

主催/公財)日本体育協会・福井県・新潟県・石川県・富山県・長野県・福井県教育委員会・新潟県教育委員会・石川県教育委員会・富山県教育委員会
長野県教育委員会・公財)福井県体育協会・公財)新潟県体育協会・公財)石川県体育協会・公財)富山県体育協会・公財)長野県体育協会

共催/会場地市町・会場地市町教育委員会・福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会実行委員会
福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会あわら市実行委員会

後援/スポーツ庁 主管/公財)福井県体育協会・福井県各競技団体



この事業は、競輪の補助金を受けて実施します。

開催の趣旨

国民体育大会の趣旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて5県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

日本体育協会スポーツ憲章

スポーツ精神とは、自らスポーツを行うことに意義と価値を認め、常に品位と名誉を重んじ、スポーツの競技規則、スポーツマンシップやフェアプレーなどのスポーツ規範に基づき、生涯を通じて自己の能力・適性等に応じて、主体的かつ継続的にスポーツの楽しさや喜びを味わうことである。

(公益財団法人日本体育協会スポーツ憲章より抜粋)

目 次

若 い 力	1	式典次第・諸会議日程	8
新 福 井 県 民 歌	1	大 会 日 程	8
あ い さ つ	2	競 技 日 程	9
お 祝 い の 言 葉	3	競 技 組 合 せ ・ 成 績 表	10
あ い さ つ	4	監 督 ・ 選 手 名 簿	12
歓 迎 の こ と ば	5	カ ヌ ー 競 技 の 見 方	14
競 技 会 役 員	6	競 技 会 場 案 内 図	16
競 技 役 員	7	宿 舎 ・ 大 会 本 部 等	17

若 い 力

日本体育協会選定
佐伯孝夫 作詞
高田信一 作曲

一、若い力と

燃えよ若人

感激に
胸を張れ

歓喜あふれる

ユニフォーム

肩にひとひら

花が散る

花も輝け

希望にみちて

競え青春

強き者

二、薫る英気と

瞳あかるい

純情に
スポーツマン

僕のよろこび

君のもの

挙る凱歌に

虹が立つ

友情身にしむ

熱こそいのち

競え青春

強き者

新福井県民歌

三好達治 作詞
小松長生 作曲

一 長江は野に横たはり

青海は岬にうたふ

国どころ越前若狭

たたなはる山しうるはし

二 秋の日の垂り穂ゆたかに

いや足らふ海のいろくづ

機杼の音も幸はふ

うまし国越前若狭

三 こゝにして新しき世は

ふるき世に替わりて興る

あなさやけ天つ日のもと

新墾の道はるかなり

たたなはる (重なりあって連なる) 足らふ (十分である)
いろくづ (魚のうろこ、魚) 幸はふ (豊かに栄える)
あなさやけ (とても清らかだ) 新墾 (新しく開墾する)

あ い さ つ



第38回北信越国民体育大会 会長
公益財団法人福井県体育協会 会長
福井県知事 西川 一 誠

第38回北信越国民体育大会が北信越各県から選手・監督並びに役員の皆様をお迎えし、福井県において盛大に開催されますことは、この上ない喜びであり、県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本大会は、各県の厳しい予選を勝ち抜いた精鋭が、郷土の代表としての誇りを胸に、今年開催の「愛顔つなぐ えひめ国体」への出場権獲得をめざし、熱い戦いを繰り広げる北信越最大のスポーツの祭典です。

選手の皆様には、日ごろ鍛えた技と力を十分に発揮され、郷土の期待に応えるとともに、地域の人たちとの友情の輪を大きく広げていただき、思い出に残るすばらしい大会となりますよう祈願しております。

本県では、来年開催される第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体・障スポ」に向けて、県・市町の競技会場の整備を進めており、メイン会場となる福井運動公園では、県営体育館や県営テニス場が完成し、本年4月に供用を開始しました。さらに、県民総参加で、全国から多数の選手、役員の皆様に温かくお迎えし、心のこもったおもてなしをする準備を進めるとともに、全国初の試みとして、国体会期中に障スポ競技を開催するなど、国民体育大会と障害者スポーツ大会の「融合」を広くアピールしていきたいと考えています。北信越各県の皆様におかれましてもご支援・ご協力をお願いします。

また、県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、豊かな自然の中で育まれた福井県の食をご堪能いただくとともに、永平寺や一乗谷朝倉氏遺跡など本県の歴史や文化の魅力に触れていただければ幸いです。

終わりに、本大会の開催にご尽力いただきました会場地の市町をはじめ、関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、選手の皆様のご健闘と大会の成功を祈念申し上げます、歓迎のことばといたします。

お祝いの言葉



福井県議会議員 松田 泰典

第38回北信越国民体育大会が、北信越5県の代表の選手や関係の皆様をお迎えし、盛大に開催されますことを、地元 福井県議会を代表し、心からお祝い申し上げます。

皆様には、日ごろから、スポーツの振興に多大なご尽力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、スポーツを通して明るい社会づくりに貢献されていることに対し、深く敬意を表する次第であります。

本大会は、第72回国民体育大会（愛媛国体）への出場権をかけて行われ、北信越地区では最も権威のある大会であります。選手の皆様には、日ごろ鍛えられた力と技を十分に発揮され、輝かしい成果を収められることを期待しております。

福井県は、豊かな自然や歴史、多彩な伝統工芸や美しい和食文化に恵まれ、また、子どもたちの学力・体力や県民の幸福度も全国トップクラスの評価を受けております。県外からお越しの皆様には、ぜひこの機会に、福井の魅力を満喫していただければ幸いに存じます。

来年の第73回国民体育大会「福井しあわせ元気国体」は本県での開催となります。必要な施設や環境の整備も順調に進んでおり、県外からのお客様をお迎えする準備も、県民一丸となって盛り上げてまいります。来年、皆様方とここ福井で再びお会いできることを念願しております。

結びに、本大会の開催にご尽力いただいた役員の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功と、大会にご参加の皆様方のご健勝、ご活躍を心よりご祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

あ い さ つ



福井県カヌー協会
会長 上松 信行

このたび、あわら市に北信越各県より選手・役員をお迎えして、第38回北信越国民体育大会カヌー競技（スプリント）が行われますことは、真に喜ばしく、心よりご歓迎申し上げます。あわら市は、カヌーポロを中心に、スプリントやカヌーマラソンなど、多くの大会を開催し、カヌーのメッカとなっております。

本大会は、来年行われます福井しあわせ元気国体のプレ大会を兼ねており、ここ北潟湖が福井しあわせ元気国体の会場にもなります。

北潟湖は、日本海につながる県内屈指の湖沼で、フナやウナギなど多くの魚類が生息し、冬にはカモ類が飛来して越冬します。会場はその南端に位置し、カヌーポロのコートに接しており、周辺は北潟湖畔公園として整備されております。また、近くには芦原温泉があり、お出でいただきました皆様にも、お楽しみいただけるものと存じます。

カヌーは自然に親しむアウトドアスポーツですが、その環境の下で行われる競技としてのスプリントの魅力もまた格別のものがあります。この競技に打ち込まれた選手の皆さんには、日頃鍛え抜かれた『技』と『力』を十分に発揮され、優秀な成績を残されますことをご期待申し上げます。

終わりに、本大会を開催するにあたり、ご尽力を賜りました関係各位に深くお礼を申し上げ、ごあいさつといたします。

歓迎のことば



あわら市長 橋本達也

北信越の各県から多くの選手・役員の皆様をお迎えし、第38回北信越国民体育大会があわら市において盛大に開催されますことは、誠に喜ばしく、市民を代表して心から歓迎申し上げます。

あわら市は、美しい日本海、静かな湖、緑豊かな山々、優れた泉質の温泉、太陽をいっぱい浴びた農作物など自然の恵みにあふれたところで、「ゆうゆうと人が輝くいやしと創作のまち」を目指しております。

今回で38回目を迎える北信越国民体育大会は、選手の皆様にとって愛媛国体の出場権を懸け熱い戦いの場となることでしょう。

日々の厳しい練習と努力の成果を十分に発揮され、輝かしい成績を収められますとともに、心に残る大会となることを願っています。

また、県外からお越しいただいた皆様には、折角の機会でございますので、あわらしい贅沢を感じていただけたら幸いです。

最後に、本大会の開催にあたりご尽力いただきました関係各位に敬意を表しますとともに、皆様方のご活躍と大会のご成功を心からお祈り申し上げます。

競 技 会 役 員

名 誉 会 長	橋本 達也			
会 長	上松 信行			
副 会 長	塚田 一郎	佐々木 紀	宮本 光明	小山 健英
顧 問	森 之嗣	大代 紀夫	重森 俊道	
参 与	西川 佳男	大角 勇治	堂庭 信男	
委 員 長	前田 博司			
副 委 員 長	江龍田 章	古谷 利彦	橋本 充	小澤 康雄
委 員	翠 徳夫 國京 健二 竹田 光一 久司 満	細川 正樹 藤井 寛隆 巢守 和義 高木 信寿	飛坂 昌英 野口 雄慶 栗本 宣和 武江 一	近藤 英幸 上木 大輔 近藤 雅晴

競 技 役 員

競技会会長	上松 信行			
競技会副会長	塚田 一郎	佐々木 紀	野上浩太郎	小山 健英
審議委員長	古谷 利彦			
審議委員	春園 長公	重森 俊道		
競技委員長	前田 博司			
競技副委員長	野田 貴義			
総務部長	阿部 茂明			
総務部員	岩上 禎宏	野口 雄慶	青木 直美	林 清一郎
	増田 遼			
審判部長	保坂 義彦			
記録主任	西田 雅子			
記録員	林 明美	西川 航平	庄田 晴香	下家 祐希
式典表彰員	西澤真里子	成実 優加		
放送員	笹木 雪那	北島 由蘭		
救助員	山本 紹央	山本 耀介		
発艇主任	栗本 宣和			
発艇員	藤井 寛隆	山崎 哲平		
整列員	高橋 潤			
決勝審判長	真田 行康			
決勝審判員	稲田 真人	菅沼 環	柳本 正澄	吉田 昭博
	平井 俊宏	内田 由一	嶋崎 貴之	田崎 正美
水路審判主任	石井 砂織			
水路審判員	久司 満	坪田 雅英	坪田 恭一	北川 凌大
	上木 大輔	竹澤 和宏		
配艇主任	増田 英雄			
配艇員	菅谷千恵華	勝木 亮佑	小嶋 咲希	
検艇主任	河西 弘三			
検艇員	家上 航輔	中野 正隆	桑島 惇一	五十嵐大智
審判艇乗務員	岩田 利一	中嶋 英一	武田 正彦	波多野和博
競技補助員	福井 大学	福井工業大学	金津 高校	他

式典次第

【開始式】

期日 7月16日(日)
 時間 午前8時30分より
 場所 芦原青年の家

次 第

- 1 役員・選手団整列
- 2 閉式通告
- 3 競技会開始宣言
- 4 国歌斉唱
- 5 若い力斉唱
- 6 競技会会長あいさつ
- 7 歓迎のことば
- 8 祝辞
- 9 競技上の注意
- 10 選手宣誓
- 11 閉式通告
- 12 役員・選手団解散

【表彰式】

期日 7月16日(日)
 時間 午後3時より
 場所 芦原青年の家

次 第

- 1 役員・選手団整列
- 2 閉式通告
- 3 成績発表
- 4 表彰
- 5 競技会会長あいさつ
- 6 競技会終了宣言
- 7 閉式通告
- 8 役員・選手団解散

諸会議日程

会議名	期日	時間	場所	電話番号
監督会議	7月15日(土)	午後1時より	芦原青年の家	会場責任者 前山博司 090-4322-8133

大会日程

平成29年7月15日(土)

9:00～13:00 受付・検定
 10:00～13:00 公式練習
 13:00 監督会議

平成29年7月16日(日)

8:00 役員集合
 8:20 役員・選手団整列
 8:30 開始式
 9:30 競技開始
 12:00 種目別表彰式
 15:00 表彰式

競 技 日 程

平成29年7月16日（日）

8 : 3 0 開始式（芦原青年の家）

9 : 3 0 競技開始

レース 番号	時間	種別	種目	区分	備考
1	9:30	少年女子	カヤックシングル	決勝	
2	9:37	少年男子	カナディアンシングル	決勝	
3	9:45	少年男子	カヤックシングル	決勝	
4	9:52	少年女子	カヤックペア	決勝	
5	10:00	少年男子	カナディアンペア	決勝	
6	10:07	少年男子	カヤックペア	決勝	
7	10:15	少年男子	カヤックフォア	決勝	
8	10:22	成年女子	カナディアンシングル	決勝	
9	10:30	成年女子	カヤックシングル	決勝	
10	10:37	成年男子	カナディアンシングル	決勝	
11	10:45	成年男子	カヤックシングル	決勝	

1 5 : 0 0 表彰式（芦原青年の家）

競技組合せ・成績表

レース番号 1 少年女子カヤックシングル 決勝 9 : 30 発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	石川	58	越田 彩華	' "		
2	福井	71	ペトラン ファンニ	' "		
3	新潟	14	川俣 萌華	' "		
4	長野	28	尾澤 さやか	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 3)

レース番号 2 少年男子カナディアンシングル 決勝 9 : 37 発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	福井	68	西畑 和真	' "		
2	富山	40	成瀬 温人	' "		
3	長野	27	高橋 達哉	' "		
4	新潟	11	河村 翔馬	' "		
5	石川	55	山村 智矢	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 3)

レース番号 3 少年男子カヤックシングル 決勝 9 : 45 発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	富山	33	深川 瞭	' "		
2	新潟	4	高橋 帝雅	' "		
3	石川	48	湊 伶人	' "		
4	福井	65	亀山 祐享	' "		
5	長野	20	宮尾 亮輔	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 3)

レース番号 4 少年女子カヤックペア 決勝 9 : 52 発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	福井	72 73	高橋麻理佳 笹岡 晏奈	' "		
2	新潟	15 16	稲田ひかる 古川原彩子	' "		
3	富山	43 44	浦田 樹里 中田 舞絢	' "		
4	石川	59 60	吉本 蒼空 土田 栞	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 1)

レース番号 5 少年男子カナディアンペア 決勝 10 : 00 発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	石川	56 57	大宗 歩夢 西出 紘朗	' "		
2	福井	69 70	加藤 結斗 栗原 賢伍	' "		
3	新潟	12 13	青木 風雅 片桐 翔也	' "		
4	富山	41 42	福島 晴貴 平井 兵馬	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 1)

レース番号 6 少年男子カヤックペア 決勝 10:07発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	福井	66 67	市川 侑聖 半田 裕太	' "		
2	長野	21 22	笠原 凌 久保 遥希	' "		
3	新潟	5 6	中山 太郎 諸橋 凜	' "		
4	富山	34 35	稲田 直大 松崎 巧実	' "		
5	石川	49 50	稲場 弥 宮前 大地	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 1)

レース番号 7 少年男子カヤックフォア 決勝 10:15発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	石川	51 52 53 54	大塚 匠 奥 俊輔 加藤 洸介 濱田 悠生	' "		
2	新潟	7 8 9 10	中山 文夫 松田 瑛賢 飛田 龍太 山崎 大樹	' "		
3	富山	36 37 38 39	野村 大介 野澤 美朝 萩中 太陽 西中 智哉	' "		
4	長野	23 24 25 26	青木 比呂 北澤 裕仁 倉澤 遥希 上垣 拓	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 1)

レース番号 8 成年女子カナディアンシングル 決勝 10:22発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	石川	47	浜 鈴菜	' "		
2	富山	32	黒川 明花	' "		
3	福井	64	磯本 えなみ	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 1)

レース番号 9 成年女子カヤックシングル 決勝 10:30発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	長野	19	細井 悠希江	' "		
2	福井	63	山下 友理子	' "		
3	富山	31	山本 結花	' "		
4	石川	46	中川 紗耶香	' "		
5	新潟	3	三澤 理帆子	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 2)

レース番号 10 成年男子カナディアンシングル 決勝 10:37発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	福井	62	湯浅 友晶	' "		
2	富山	30	平井 飛勇	' "		
3	新潟	2	當銘 孝仁	' "		
4	長野	18	吉澤 雄一	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 3)

レース番号 11 成年男子カヤックシングル 決勝 10:45発艇

レーン	県名	ゼッケン	選手名	タイム	順位	備考
1	長野	17	吉澤 淳	' "		
2	石川	45	松下 桃太郎	' "		
3	富山	29	松崎 陽祐	' "		
4	福井	61	本間 洋樹	' "		
5	新潟	1	高橋 駿哉	' "		

(第72回国民体育大会 北信越ブロック 代表数 3)

監督・選手名簿

県名	監督(所属)	種別	種目	ゼッケン	選手(所属)
新潟	澁谷 毅 (新潟県立分水 高等学校教員)	成年男子	K-1	1	高橋 駿哉 (大正大学)
			C-1	2	當銘 孝仁 (一般社団法人三条市体育協会)
		成年女子	K-1	3	三澤 理帆子 (東京女子体育大学)
			少年男子	K-1	4
		K-2		5	中山 太郎 (新潟市立万代高等学校)
		K-2		6	諸橋 凜 (新潟市立万代高等学校)
		K-4		7	中山 文夫 (新潟県立分水高等学校)
		K-4		8	松田 瑛賢 (新潟県立分水高等学校)
		K-4		9	飛田 龍太 (新潟県立分水高等学校)
		K-4		10	山崎 大樹 (新潟県立分水高等学校)
		C-1		11	河村 翔馬 (新潟県立分水高等学校)
		C-2		12	青木 風雅 (新潟県立分水高等学校)
		少年女子	C-2	13	片桐 翔也 (新潟県立分水高等学校)
			K-1	14	川俣 萌華 (新潟県立分水高等学校)
			K-2	15	稲田 ひかる (新潟県立分水高等学校)
			K-2	16	古川原 彩子 (新潟県立分水高等学校)
長野	武江 一 (長野県長野工 業高等学校教 員)	成年男子	K-1	17	吉澤 淳 (長野県篠ノ井高等学校犀峽校教員)
			C-1	18	吉澤 雄一 (長野県カヌー協会)
		成年女子	K-1	19	細井 悠希江 (上田女子短期大学)
			少年男子	K-1	20
		K-2		21	笠原 凌 (長野県篠ノ井高等学校犀峽校)
		K-2		22	久保 遥希 (長野県篠ノ井高等学校犀峽校)
		K-4		23	青木 比呂 (長野県篠ノ井高等学校犀峽校)
		K-4		24	北澤 裕仁 (長野県篠ノ井高等学校犀峽校)
		K-4		25	倉澤 遥希 (長野県長野工業高等学校)
		K-4		26	上垣 拓 (長野県篠ノ井高等学校犀峽校)
		少年女子	C-1	27	高橋 達哉 (長野県篠ノ井高等学校犀峽校)
			K-1	28	尾澤 さやか (長野県篠ノ井高等学校犀峽校)
			富山	成年男子	K-1
C-1	30				平井 飛勇 (同志社大学)
成年女子	K-1	31		山本 結花 (同志社大学)	
	C-1	32		黒川 明花 (富山東高等学校)	
少年男子	K-1	33		深川 瞭 (水橋高等学校)	
	K-2	34		稲田 直大 (水橋高等学校)	
	K-2	35		松崎 巧実 (水橋高等学校)	
	K-4	36		野村 大介 (水橋高等学校)	
	K-4	37		野澤 美朝 (水橋高等学校)	
	K-4	38		萩中 太陽 (滑川高等学校)	
	K-4	39	西中 智哉 (上市町立上市中学校)		
	C-1	40	成瀬 温人 (水橋高等学校)		
	C-2	41	福島 晴貴 (水橋高等学校)		
	C-2	42	平井 兵馬 (水橋高等学校)		
少年女子	K-2	43	浦田 樹里 (水橋高等学校)		
	K-2	44	中田 舞絢 (水橋高等学校)		

監督・選手名簿

県名	監督(所属)	種別	種目	ゼッケン	選手(所属)
石川	山作 直弘 (石川県立小松商業 高等学校教員)	成年男子	K-1	45	松下 桃太郎 (自衛隊体育学校)
		成年女子	K-1	46	中川 紗耶香 (山崎金属産業(株))
			C-1	47	浜 鈴菜 (小松市立南部中学校)
		少年男子	K-1	48	湊 伶人 (小松大谷高等学校)
			K-2	49	稲場 弥 (石川県立小松商業高等学校)
			K-2	50	宮前 大地 (小松市立高等学校)
			K-4	51	大塚 匠 (石川県立小松工業高等学校)
			K-4	52	奥 俊輔 (石川県立小松工業高等学校)
			K-4	53	加藤 洸介 (石川県立小松工業高等学校)
			K-4	54	濱田 悠生 (石川県立小松商業高等学校)
			C-1	55	山村 智矢 (石川県立小松工業高等学校)
			C-2	56	大宗 歩夢 (石川県立小松商業高等学校)
		少年女子	C-2	57	西出 紘朗 (石川県立小松商業高等学校)
			K-1	58	越田 彩華 (小松市立芦城中学校)
			K-2	59	吉本 蒼空 (石川県立小松商業高等学校)
福井	濱野 早紀 (金津高校職員)	成年男子	K-1	61	本間 洋樹 (金津高校教員)
			C-1	62	湯浅 友晶 (福井県体育協会)
		成年女子	K-1	63	山下 友理子 (株式会社ウエマツ)
			C-1	64	磯本 えなみ (福井工業大学)
		少年男子	K-1	65	亀山 祐享 (金津高校)
			K-2	66	市川 侑聖 (金津高校)
			K-2	67	半田 裕太 (金津高校)
			C-1	68	西畑 和真 (金津高校)
			C-2	69	加藤 結斗 (金津高校)
			C-2	70	栗原 賢伍 (金津高校)
少年女子	K-1	71	ペトラン ファンニ (福井工大附属福井高校)		
	K-2	72	高橋 麻理佳 (金津高校)		
	K-2	73	笹岡 晏奈 (金津高校)		

カヌー競技の見方

カヌー競技の現況

昭和 39 年（1964 年）東京オリンピックのカヌー競技に日本が初めて参加して以来、カヌースポーツに対する国民の関心が高まってきました。

もともとカヌーは、私たちの祖先が海・湖沼などで物資輸送や交通手段、そして狩猟に使用するなど生活に欠かせない道具として、大切にされてきました。

そのようなことから歴史は古く、いろいろなスポーツと同様に人々に親しまれています。特に、欧州各国での普及はめざましく、1924 年パリオリンピックで公開競技、1936 年ベルリンオリンピックから正式競技に採用され、世界で最も普及したスポーツの一つとなっています。

近年は、自然と親しむアウトドアスポーツとしても注目を集め、愛好者も増えて、生涯スポーツとして盛んに行われています。わが国においては、日本カヌー連盟を中心として全国各地道府県にカヌー協会が設置されております。国民体育大会には、昭和 57 年第 37 回国民体育大会（島根県）より正式競技として採用され、全国に充実発展しています。

カヌーの概要

カヌーには、カヤック（K）とカナディアン（C）の 2 種類があります。カヤックは、艇の中央部に座り、パドル（櫂・かい）の両端にあるブレード（水かき）で、左右交互に水をかきながら艇を進めます。また、カナディアンは、立てひざもしくは片ひざの姿勢で、片側だけにブレードのついたパドルを操作し進みます。後述のスプリントに使われる艇（カヤック）のみ、足で舵（かじ）を操作しながら方向を整えますが、それ以外はすべてパドルで方向を整えながら進みます。

ボートとカヌーの違いは、ボートはリガー（オールを固定する場所）が取り付けられているのに対し、カヌーはどのタイプもパドルが固定されていません。そのため、ボートは後ろ向きに進みますが、カヌーはすべて前向きに進みます。

カヌー競技の種目と種別

国民体育大会の競技には、静水面で行う「カヌースプリント競技」と河川の急流で行う「カヌースラローム競技」「カヌーワイルドウォーター競技」の 3 種類があります。

各競技とも、選手は（A）・（B）両方に参加できることになっています。

- ・カヌースプリント （A）200m （B）500m
- ・カヌースラローム （A）15 ゲート （B）25 ゲート
- ・カヌーワイルドウォーター （A）スプリント （B）1500m

* 北信越国民体育大会では（B）のみが実施されます。

カヌースプリント

流れのない河川・湖沼・港湾等を利用し、一定の距離とレーン（水路）を決めて着順を競います。

国民体育大会での競技種目は、平成 29 年より、成年男子と成年女子が K-1（1 人乗り）、C-1（1 人乗り）の各 2 種目、少年男子が K-1、C-1、K-2（2 人乗り）、C-2（2 人乗り）、K-4（4 人乗り）の 5 種目、少年女子が K-1、K-2（2 人乗り）、K-4（4 人乗り）の 3 種目となっています。ただし、K-4 は少年男子と少年女子が隔年（奇数年は男子、偶数年は女子）で行い、愛媛国体では少年男子が実施されます。

カヌースラローム

カヌーを使った回転競技で、変化に富んだ流れのある河川で行う競技です。ダウンストリームゲート（漕ぎ下り：緑と白のポール）とアップストリームゲート（漕ぎあがり：赤と白のポール）を、パドルを使ってポールに触れないように通過し、その速さを競います。国民体育大会では 25 ゲートと 15 ゲートで競技が行われ、コースの距離は 250m～400m 以内でゲートが設定されます。順位は、スタートからゴールまでの所要タイムに、各ゲート通過時のペナルティ（罰点）を加えて決定します。漕ぐ速さと正確さが求められます。したがって、点数の少ない方が上位となります。各選手は 2 回漕行し、そのうちの良い方の成績で順位付けがされます。

・ゲート通過時のペナルティ

正しく通過…………… 0 点

ポールに触れる（何回でも）…………… 2 点

不通過…………… 50 点

・成績の計算例

スタートからゴールまでの所要時間を 1 分 40 秒として

1 分 40 秒 = 100 秒 = 100 点

ペナルティ（罰点）をポールに接触 1 か所、不通過 1 か所として

2 点 + 50 点 = 52 点

成績（タイムとペナルティの合計）

100 点 + 52 点 = 152 点

カヌーワイルドウォーター

岩などの障害をかわしながら、流れの激しい河川を一気に漕ぎ下る競技で、順位は所用タイムの少ない方が上位となります。流れを読む力が要求されます。

国民体育大会の競技は、1500m とスプリント（300m～600m）の 2 つの距離で行われます。スプリントは 2 回漕行した合計タイムで順位を競います。

競技会場案内図

カヌー競技(スプリント)



アクセス

JR+タクシー利用：北陸本線芦原温泉駅下車 タクシーで約10分

鉄道・バス利用：えちぜん鉄道「あわら湯のまち」駅よりバスにて「北潟花菖蒲園」下車

自動車利用：北陸自動車道加賀ICまたは金津ICより約10分



宿 舎 一 覧 表

県名	宿舎名	所在地	電話
新潟	清風荘	〒910-4104 あわら市温泉3-803	0776-77-2500
石川	みのや太平閣	〒910-4105 あわら市舟津50-1-1	0776-78-5566
長野			
富山			
福井			

競 技 会 本 部

北潟湖特設コース
あわら市北潟

【会場連絡責任者】前田 博司

電話 090-4322-8133

救 急 指 定 病 院

坂井市三国町北本町2-2-6

宮崎病院

〒913-0046 坂井市三国町北本町2-2-6

電話 0776-82-1002

大 会 本 部

第33回北信越国民体育大会実行委員会事務局

福井市福町 3-20 公益財団法人福井県体育協会内

TEL 0776-34-2719 FAX 0776-34-2742